



中国ビジネスの 体験談を通じて

金沢支部 森 眞一郎

昨年は石川県内にある中小企業の依頼により、中国への現地法人設立及び輸出入に関する仕事の関係で何度か中国へ訪れる経験をさせて頂きました。

ご存知のように中国は現在、経済やインフラ整備がとても盛んな国で、石川県内の企業における中国進出企業（現地法人、駐在所等）は既に100ヶ所を超えており、市場としての将来性を見込んだ中国進出が活発化し、今までは工場など製造拠点の進出がメインでしたが、近年は販売や市場調査を目的として進出が目立ってきています。

私が主に訪れた場所は本国直轄市のひとつである中国第二位の人口を誇る上海市と遼寧省の大連市で、さすがにどちらも大都市とあって、すでに日系企業が多数進出していました。

中国には弁護士や会計士はいますが、行政書士という職業はありません。内陸部の田舎の方では今でも字の読み書きができない人に対して、お寺の住職さんが書類を読んであげたり、手紙を代書してあげるなど、代書人みたいなことをしているそうです。

許認可や法人設立等の代理人としての手続は弁護士の業務範囲とされており、私の場合も現地の弁護士と提携した形で進めています。

また行政書士という職業はありませんが、日本に興味のある中国人や過去に日本に滞在したことや留学していた経験のある中国人は、在留資格等の関係で、とても行政書士について、よく知っていました。

これからも中国へは何度か行く予定ですが、言葉の壁である中国語も1年前から学校に通い、今では何とか中国人にも通じるようになったので、これからは極力通訳者を介さずに、直接相手との打合せに望めるよう語学力を伸ばし、新しい分野に対し行政書士として積極的に取り組んでいけるよう、日々頑張っ

て行きたいと考えています。

短歌

白鳥能登の地へ

この年も訪ねてくれし白鳥の
集いて田の面 真白く光る

遠い旅 連れだちて来し 白鳥に
何世代かと 問いたい気分

奥能登の 田に群れなせる 白鳥の
仲良きしぐさ 見るもうれしき

輪島支部 大森千歌子



私の趣味と人生観

金沢支部 池水 龍一

1. 私の趣味は謡曲です。「高砂や〜」ですネ。
最近の結婚式では全く聞かれなくなりました。
謡曲自体はドラマの文章ですから、小謡(こうたい)は座興というところですかネ。
2. 写真は21年11月の発表会です。
無囃子で「桜川」です。御覧の姿で狂女の舞いを舞うわけですが、私などはとても観客に狂女であることを印象づけられません。奥が深いです。
3. 謡曲の材料は源氏物語、伊勢物語、平家物語が多い。
これらの物語の中でち、とくに無常観が漂う場面が多い。たいへん冷めているわけです。仕事を通じての、モノの観方もこういった心情になります。

権威は誰のために

金沢支部 中川 真人

権力とは実力を以って他者を服従させること、権威とは畏敬の念を以って他者から慕われること、を指します。医学の世界に永らく身を置いておりますと、よくどこそこ界の権威、と呼ばれる方々とお目にかかる機会があります。しかし、この場合の「権威」が、正しい意味では使われていないと思われることが多々見られます。

俗に、「権威主義」と呼ばれるものがそれです。

医者とは本来科学者であり、科学者は自然の真理にのみ仕えるべき存在です。特定の個人をしてその尊敬を強いるなどは、およそ科学者のとるべき態度とは思われません。

権威の全てを否定するわけではありません。世の中には必要な権威というものがああります。そしてそれがどんどん失われつつあるのだと思います。

生命に対する尊厳、医療全体に対する信頼、医療・介護従事者に対する感謝の気持ちなどもその一つだと思います。真に必要な権威とは何か、それを考える気持ちを大切にしたいと思います。

